

チーム医療・コミュニケーション演習

[演習] 第3学年 後期 選択 1単位

《担当者名》○遠藤輝夫、河合祐子、竹生礼子、田中真樹、松尾淳司、江本美穂、高橋祐司、山崎智弘

【概 要】

医学・医療の進歩に伴う医療の高度化・専門化によって、患者の治療は医師だけではなく、医療に携わるあらゆる職種がチームとなって治療にあたる「チーム医療」が求められている。臨床検査技師もチームの一員として、臨床検査の専門家の立場から意見、提案することが求められており、その際には他職種の考え・意見を正確に理解し議論するコミュニケーション能力が重要である。本演習では、他職種の業務ならびに医療現場で実際におこなわれている各種チーム（感染制御チーム、栄養サポートチームなど）について理解し、基本的なマナーの取得、コミュニケーション能力や問題解決能力の取得を目指したグループディスカッション、プレゼンテーションを実施する。

【学習目標】

- 1) チーム医療とその大切さを説明できる。
- 2) 他職種の業務内容について説明できる。
- 3) 医療現場での各種チームについての内容と役割を説明できる。
- 4) 人と会話をする際の基本的なマナーを取得している。
- 5) 問題解決に向けたディスカッションができる。
- 6) 意見をまとめて他人に簡潔かつ正確に考えを伝えることができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ガイダンス	・チーム医療・コミュニケーション演習全般についてのガイダンス ・チーム医療の内容と役割を理解する	臨床化学教授
2	チーム医療1	・栄養管理チーム（NST）の内容と役割を理解する	非常勤講師
3	チーム医療2	・感染管理チーム（ICT）の内容と役割を理解する	田中真樹
4	チーム医療3	・糖尿病患者管理における糖尿病療養指導士の役割を理解する	非常勤講師
5	ポイントオブケアテスト（POCT）で果たす臨床検査技師の役割	・ベッドサイドや在宅でのチーム医療におけるポイントオブケアテスト（POCT）の活用と臨床検査技師の役割を理解する	高橋祐司
6	チーム医療に必要となるスキル	・コミュニケーションスキルを理解する ・問題解決能力を理解する	臨床化学教授
7	社会生活での基本マナー	・社会において人と接する際のマナーを理解する	非常勤講師
8	医療現場での基本マナー	・病院内において患者様と接する際のマナーを理解する	非常勤講師
9	対人援助	・信頼関係を形成するために必要な技術を理解する。	未定
10	聴く姿勢1	・積極的傾聴と「聴く姿勢」を理解する	未定
11	聴く姿勢2	・共感と「聴く姿勢」を理解する	未定
12	演習1	・症例をもとにチーム医療における臨床検査技師としての役割についてグループディスカッションをおこなう	担当教員
13	演習2	・プレゼンテーション資料の作成	担当教員
14	演習3	・プレゼンテーション	担当教員
15	臨床検査技師にとってのチーム医療、まとめ	・演習全体の総まとめ	担当教員

【評価方法】

定期試験 30%
レポート 50%
プレゼンテーション20%

【備 考】

教科書 ： 特に指定しない。授業時にプリントを配布します

参考書 ： 「臨床検査技師のためのチーム医療教本」 日本臨床衛生検査技師会 監修 じほう
「実践 チーム医療論」 水本清久 他著 医歯薬出版
「病院職員のためのマナーテキスト」 社団法人日本経営協会 著 社団法人日本経営協会
「ビジネスマナー基礎実習」 早稲田教育出版編集部 著 早稲田教育出版
「カウンセリング演習」 福島脩美 著 金子書房
「マイクロカウンセリング技法―事例場面から学ぶ―」 福原真知子 著 風間書房
「マイクロカウンセリング」 アレン・E・アイビイ 著 川島書店

【学習の準備】

予習は、次回の授業内容に関連する書籍を読んでおくこと（80分）

復習は、配付資料を活用し学習を深めること（80分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP1）生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。

（DP3）保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。